第114号
2024/11

PVかながわ ニュースレター

News

～家庭でできる脱炭素行動～
泉区民ふれあい祭りに“PV-Netほどがや”が出展

11月3日（日）に区役所横の遊水地で開催された「泉区民ふれあい祭り」に太陽光発電所ネットワーク・ほどがや近隣グループ交流会が出展した。前日の豪雨で、開催場所である遊水地のぬかるみのために中止が心配されたが、雨は前夜の内に止んで、朝にはウソのような快晴となって、テント設置には全く問題なかった。今回の出店料とレンタル料の合計23,000円は、横浜市（横浜市地球温暖化対策推進協議会）が負担したので、無料で出展できた。

多くの自治体が2050年に二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明している中、横浜市も「Zero Carbon Yokohama」を宣言し、脱炭素ライフスタイルの浸透を目指して、「家庭や日常生活で出来る脱炭素行動」を紹介している。

“おうちでZero Carbon!”
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/ra/outi.html

横浜市ではZero Carbon啓蒙のために、今年は別紙にある“「なにからやろう」～家庭でできる脱炭素行動！～”のアンケート調査を行っており、その収集に全面的に協力することでPV-Netほどがやの出展展示を実現させている。実は、10月20日(日)に行われた「旭区区民まつり」でもアンケートを実施しており、今後も機会があれば協力を惜しまない。

出展では、太陽光で携帯電話などを充電できる「出前発電所」の展示やその組立ワークショップ概要を紹介したが、次回は来年4月に会場を確保してはいるが、詳細は現在検討中のため、興味を持っていただいた方には、PV-Net神奈川地域交流会のHP（https://pvkanagawa.livedoor.blog/）にて案内する旨を説明した。

今回のアンケート回収数は大人：116枚、子供：56枚で、横浜市地球温暖化対策推進協議会が集計する予定。別紙のように照明、冷蔵庫、テレビ、乗り物などの取り込み項目に関して、各自が取り組んでいるかどうか〇を付けてもらう形式になっており、「1年間のCO2削減量と節約金額」を計算することができる。

横浜市では、脱炭素が暮らしや地域に浸透し、気候変動の影響に対応しているまちの姿を目指している。みなさんも身近なところから出来る“おうちでZero Carbon！”に取り組んでみませんか?

（田辺記）

世話人から

連絡事項

PV-Netほどがやは、「イオンスタイル戸塚店」と「ダイエー三ツ境店」の”幸せの黄色いレシートキャンペーンに来年も登録予定です。お買物の機会ありましたら、是非ともご協力をお願いします。

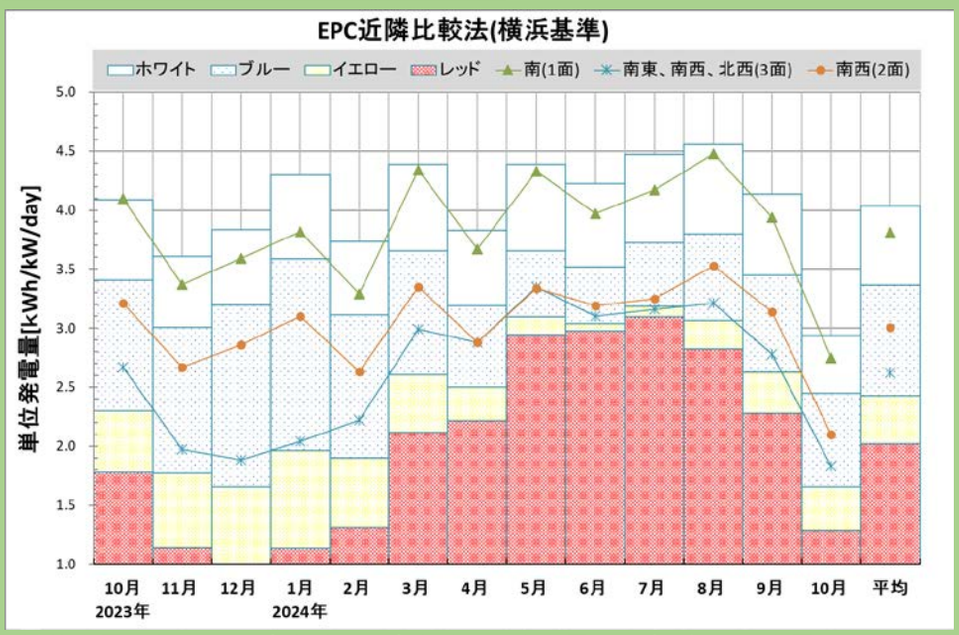
11月以降の予定

「子育て広場出前講座」
（温対協主催　講師PVさがみはら）
日時:11月1日(金)10:30-11:30
会場:相模原市立二本松こどもセンター

「泉区民ふれあいまつり」
日時:11月3日(日) 10:00-14:00
会場:和泉遊水池3池、4池

相模原市脱炭素ライフスタイル普及啓発大学連携事業「ZERO CARBON ポスターセッションチャレンジ」
日時:11月16日(土) 14:00-16:15
会場：青山学院大学 相模原キャンパス
（PV-Net神奈川世話人が審査員参加）

今月の単位発電量！



横浜の10月平均気温は初めて20℃を超え、観測開始後最も高い21℃でした。気象庁によるとは「偏西風が平年より北に偏って流れ、日本付近は暖かい空気に覆われた。また、日本の東で高気圧が強く、南から暖かい空気が流れ込みやすかったことから、全国153の気象台等のうち139地点で、10月として歴代1位の高温となり、7月から気温が全国的にかなり高い状態が持続している。移動性高気圧や前線を伴った低気圧が日本付近を交互に通過したため、天気は数日の周期で変わったが、東・西日本では上旬と下旬を中心に低気圧や秋雨前線の影響を受けやすく、月降水量は東・西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。月間日照時間は北日本日本海側でかなり多かった一方、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。
平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドが続く場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。
※近年の太陽光システムは均質化や効率改善が進み、2000年初頭の物に比べ、実発電量が10%以上多くなることもあるので、補足としてホワイトを設けました。

Ver.8

「なにからやろう」

～家庭でできる脱炭素行動！～

★既に実施している場合は「やっている」欄に○印、
★今後も実施しない場合は×印
★持っていない（利用していない）場合は—
★特に力をいれて取り組んでいる場合は◎

対 象	取組み項目	1年間の CO_2 削減	1年間の節約金額	やっている
① エアコン	暖房（エアコン）を 1 時間/日 短縮	18.3 kg	1,460 円	
	冷房を1時間/日 短縮（28℃設定）	8.5kg	680 円	
	省エネタイプに変更（10 年前の型と比べると）	82.3kg/台	6,560 円	
	エアコンのフィルターを 1～2 回/月 掃除する	14.4 kg	1,150 円	
② 照明	一般電球から電球型 LED 照明に変更	27.2kg/個	2,870 円	
③ 冷蔵庫	冷蔵庫にものを詰め込まず半分程度に	19.7kg	1,570 円	
	冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に（周囲温度 22℃）	27.8kg	2,220 円	
	省エネタイプに変更（10 年前の型と比べると）	62kg/台	4,960 円	
④ テレビ	テレビを見る時間を 1 時間/日短縮（32V）	7.6kg	610 円	
⑤ パソコン	使用時間を 1 時間/日 短縮（デスクトップ）	14.2 kg	1,130 円	
⑥ 食品	家庭と外食の食品ロス（廃棄・食べ残し）がゼロ	5,4kg/人	8,900円	
	地産地消（神奈川県産の物を意識して購入する）	-	-	
⑦ 乗物	電気自動車（通常の電力で充電）	610 kg/台	75,000 円	
	通勤・通学を自動車からバス・電車・自転車に置き換え（5km未満）	161.8kg/人	11,800 円	
⑧ 再エネ	太陽光パネルの設置	9,120kg/世帯	53,200 円	
		どちらかに○印	戸建て	
			集合住宅	
	再エネ電気に切り替え	1,232kg/人		

★「横浜市地球温暖化対策実行計画」を知ってますか？

	どちらかに○印	
・2050 年の排出ゼロに向けて国際社会全体で取り組んでいる	知ってた	知らなかった
・2050 年の横浜の将来像は 「Zero Carbon Yokohama」	知ってた	知らなかった
・7 年後、2030 年の温室効果ガス排出量の目標は 2013 年比で「50%」	知ってた	知らなかった

住所： 横浜市 区 （横浜市以外の方→ 神奈川県 市・町、その他 ）
性別： 男性 女性
年齢： 20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳以上

ご協力ありがとうございました。 横浜市地球温暖化対策推進協議会